

館内案内図

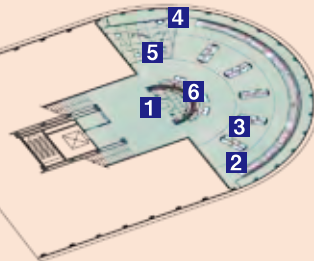
1F

- 1 インフォメーション&ミュージアムショップ
- 2 シンボルウォール
- 3 世界に広がる北九州の文学
- 4 交流ひろば
- 5 同人誌コーナー
- 6 文学賞コーナー
- 7 資料検索コーナー
- 8 ワークステーション
- 9 企画展示室



2F

- 1 北九州文学の扉
- 2 北九州の文学者
- 3 北九州の文学のあゆみ
- 4 今、活躍する作家
- 5 北九州文学マップ
- 6 デジタル展示



記憶を刻む

見て、触れて、読んで、「文学の街・北九州」を体感

文学館が13年ぶりにリニューアル。幅広い世代の人にも楽しんでもらえるよう、新しい魅力を散りばめました。

1階

NEW 北九州の魅力を映像で紹介 シンボルウォール

エントランスすぐの壁面で、本市ゆかりの文学者の作品などに書かれた北九州の風景を22種類の映像で紹介しています。



2階

文学者を深く知る 北九州の文学者

明治の文豪・森鷗外から、杉田久女、橋本多佳子、林芙美子、火野葦平、宗左近まで、本市の文学史を彩る6人の文学者を貴重な資料とともに詳しく紹介します。



1階

文学館のシンボル ステンドグラス

豊後(現在の分県)の思想家・三浦梅園の著書に書かれた図から、世界的な建築家・磯崎新さんがデザインしたものです。



2階

ジャンル別に学ぶ 北九州の文学のあゆみ

明治以前の文学に始まり、短歌、俳句と川柳、散文、児童文学、詩など、北九州の文学の歴史をジャンルに分けて展示・解説します。



1階

NEW どんな作品が翻訳されている? 世界に広がる北九州の文学

世界各国で読まれている本市ゆかりの文学作品から、39か国で翻訳された70作品を地図上で紹介。一部を展示しています。



2階

NEW 作家の愛用品も展示 今、活躍する作家

平野啓一郎さん、リリー・フランキーさん、松尾スズキさんなど、さまざまな分野で活躍中の作家35名を紹介。作家の自筆原稿・愛用品などを定期的に入れ替え、展示します。



1階

多彩な企画展を開催 企画展示室

●収蔵品展「北九州の文学者」

リニューアルを記念して、本市を代表する文学者にまつわる、貴重な収蔵品を一堂に展示。掛け軸や書画をはじめ、文学館が所蔵する自筆資料などを紹介します。常設展の入場券で観覧できます。日程は問を。

2階

NEW ケースの中の作品にタッチ デジタル展示システム

11台のタッチパネル式デジタル展示システムを設置。展示されている資料の裏面など、展示ケースの中では隠れて見えないところも見るができます。



施設情報

- [開館] 9時30分～18時
(入館は閉館の30分前まで)
[休館] 月曜日
(祝・休日の時は開館し翌日が休館)
[料金] 一般240円、中高生120円、小学生60円

開館状況は問を。
文学館のホームページでも
ご覧になれます。



文学館では、「文学の街」を未来へつなぐ次世代の担い手を育成するため、「林芙美子文学賞」「子どもノンフィクション文学賞」及び「あなたにいたくって生まれてきた詩コンクール」の3つの文学賞を実施しています。

未来につなぐ

この特集に関するお問い合わせ 北九州市立文学館 ☎ 571・1505